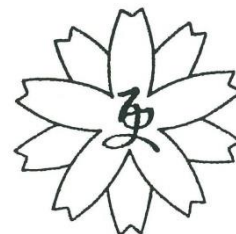


# 掛川地区 更女会だより

第 92 号 更女だより

掛川支部担当

平成 29 年 1 月発行



## 『駿府学園の生徒達に思う事』

会長 中山キクエ

12 月に入り駿府学園より平成 29 年のカレンダーが送られてきました。そのカレンダーは版画 6 枚と写真 1 枚の 7 枚構成でした。

一枚目(表紙)は写真で玄関と「父母の松」が写っておりまして。実は今年 4 月に駿府学園の誕生会でお茶会と抹茶の体験をすることになり、訪問した時の事を思い出しました。玄関の前に「父母の松」と書かれた札を見た時、一瞬胸が熱くなるのを感じました。ああ、入園する生徒に父親、母親の事を思い出させる無言の教えなんだと思いました。(松の緑は変わることはないという意味も含めて)

カレンダーを一枚ずつ見るとそこには、自分の心の中の思いを版画に起こし、自分の今の心の中を言葉で表したものでした。

一つ、二つ紹介します。

○空見れば、明日へのとびら開いてる さあ歩こうよ 新たな未来  
○快晴の空が家族に見えてきた 頑張る姿 ずっと見ている

園生達は自分の現在おかれている立場を反省し、これからの事を考えていると思います。卒園する前に自分がこれからどんな仕事をするのか、しっかりした考えを持って卒園すれば、それに向かって努力もするし、心が砕けそうになっても目標があれば自分にもムチ打つこともできると思います。また、卒園後の受け入れ側の心構えも大切だという事を更生保護女性会に入ってから知りました。

一人でも多くの人達が「お・か・え・り」とやさしい言葉をかけてあげる。そんな社会になったら再犯防止につながるのではないのでしょうか。

### 目次

- P1 駿府学園の生徒達に思う事  
(中山キクエ)
- P2 掛川支部ミニ集会  
(榛葉・佐藤)
- P2 “少年の家” 夕食づくり (大石  
さかゑ・大石幸恵・鈴木睦子)
- P3 西部ブロック研修会  
(山崎富美子)
- P3 ふれあい広場に参加して  
(新堀のり子)
- P4 e〜らふるさと in おおすかに  
参加して (増田)
- P4 大東市民交流フェスタに  
参加して (近藤正子)
- P5 静岡県更生保護大会表彰
- P6 保護司会矯正施設視察研修に  
参加 (小澤悦子)
- P6 視察研修に行ってきた
- P9 裁判傍聴 ～前号未掲載分～

掛川市福祉課

掛川市長谷 1-1-1

TEL:21-1140 FAX:21-1163

掛川地区更生保護女性会

<http://kakegawa-koujyo.com/>

会長 中山キクエ

TEL:48-2446

## 『掛川支部ミニ集会』

掛川支部 榛葉・佐藤



9月6日、13時30分から南郷地域生涯学習センターにおいてミニ集会が開催されました。

「おいしいお茶の入れ方」と題し、講師は中山更女会長です。「更女のお茶」と「茶草場のお茶」のおいしい飲み方を教わりました。17名参加の皆さんと共にとっても楽しい時間を過ごさせていただきました。

## 『少年の家の夕食作りに参加して』

大須賀支部 大石さかゑ 大石幸恵 鈴木睦子

9月26日（月）、初めて訪問した少年の家でした。勿論、夕食作りも初めてです。

「どんな物が喜んでもらえるだろうか？」  
「満足いただける物が出来るだろうか？」  
それぞれが不安を胸に出掛けました。先輩の木下さん、金原さんから「大丈夫！家でやることと同じだよ」と励まされ、掛川駅から電車に乗りました。

平成26年に竣工した鉄筋コンクリート2階建て。緑豊かな門を入ると、掃除の行き届いた玄関フロアで私たちを出迎えてくれたのは、にこやかな笑顔の所長さんでした。そこまでの緊張感がスーッとほぐれ安堵したものです。

いろいろな事情でやむなく入所された方々ですが、今日の夕食で少しでも安らいでもらえたらと思い、私たちは季節感を演出できるメニューを考えました。

栗ごはん、さつまいもと切り昆布人参の煮物、若者のボリューム不足を考慮して、焼き肉、トマトサラダにデザートは、みかんの牛乳寒天を作ることになりました。

ごはんの水加減、塩加減、焼き肉の味加減、やっぱり不安ばかりです。不安いっぱいのお母さんたちで作った味加減でどんな夕食の語らいをしてもらえるだろうか？

おいしい・・・と言って食べてもらえるだろうか？いろいろな思いをいっぱいこ帰路についたのは17時近くになっていました。食事作りに参加させて頂いた事で「更女に入っていなければ体験できない一日だったね。」等々帰りの中は有意義な一日を過ごせた事への感謝で一頻りでした。

更女会員とは名のみで会う機会もなかった会員との一日、お互いがとても近づき交流できたことが何よりでした。今後も地道ながら活動に参加させていただき、今の私たちにできることからさせていただきたいと改めて感じました。



## 『西部ブロック研修会に参加して』

掛川支部 山崎富美子

暖かくも熱意のある堀会長の講話に始まり、古川保護観察所長のお話、パネルディスカッションと会場が段々熱くなってきた。三島の48年続いた一円玉募金、黄色の封筒を公共施設やスーパー等に置く。

お礼と報告をしっかりされているから協力者は善意のお届け先がわかり、協力し甲斐があると思う。掛川でも是非取り組んでもらいたいことだ。藤枝のスクールアシスタントの活動も素晴らしい。「愛の鈴」を作ったりと会員全体で活動されているようだ。平成27年度発足の浜北地区は地域や学生達と連携して活動されている。振り返りシートも良い案だと思う。

また、地元開催の研修会ということで会員が黄色い布を首に巻き、朝、駅に着いた時から案内をしてくださったことも更女の信条の表れであると感じた。

行く前は面倒だと思っていたが、楽しく有意義な一日であった。「チャンスのキャッチ」というフレーズを思い出し、自分には何ができるかなあと考えながら家路<sup>いえじ</sup>についた。

## 『ふれあい広場に参加して』

掛川支部 新堀のり子



掛川市ふれあい広場には、50以上の団体やボランティアが協力して開催され、入場者数は約3,000人と大いに賑わいました。

私たち更生保護女性会掛川支部は、手作りした廃油石鹼やカラフルな蠟燭<sup>ろうそく</sup>、手芸品などを販売し、シールラリーには正しい「更生」の文字を当てるクイズで参加しました。更生保護とは何のことかわからない人もいて、もう少し活動をPRしないといけないかなと感じました。

会場では、久しぶりに会う方々も多く、皆さんそれぞれの場所で福祉や地域づくり活動に頑張っているのだと思いました。また、つつじ工房とは自宅が近いので、朝夕通勤している人達と会います。ふれあい広場でも何人か顔見知りの人を見かけましたが、普段の通勤時とは違い、みんな友達とニコニコしながら展示を見たりしていて、いつもと違う人柄にふれたように思います。

このようなイベントを通じて多くの人とふれあい、お互いに理解し合うことが大切だとあらためて痛感しました。

更生保護女性会は保護司の方々の活動とは違い、直接「更生」に携わることは少ないのですが、いろいろな行事や研修を通じて自己研さんに励み、少しでも明るい地域づくりのお役に立つことができればと思います。

## 『e～ら ふるさと in おおすかに参加して』

大須賀支部 増田

11月6日、地域のイベントに更生保護女性部として初めて参加いたしました。当日は“ふれあいまつり”ということでいろいろな出店や各グループの作品展もあり多彩な顔ぶれに人気があることが良く分かりました。そんな中、更女会は交流センターの2階の一画に出店し、会員手作りの畳のへりで作った手提げバッグや、さるぼぼの根付け等を販売しました。2階とはいえ大勢の人が来て、午後には完売の品もありとてもうれしく思いました。いろいろな人との交流が出来、楽しく出来たことはこの活動に参加してとても良かったと思ったことです。これからも一緒に活動出来る、そんなイベントに参加したいと思いました。



## 『大東市民交流センターフェスタに参加して』

大東支部 近藤正子



↑「南天九猿」  
難が転じて苦が去る。  
たちまち完売！！

11月27日（日）、「地域のきずな、フェスタで絆」をスローガンに、第8回交流センターフェスタが大東支所で開催され、オープニングセレモニーではわくわくハーモニカの演奏が1階ロビーに響き渡り、皆さんうっとり耳を傾けていました。

その後、3階に移動しそれぞれの団体の所に着き、手作りキャンドル等の販売をしたり、シールラリーでは更生の「生」はどの字？といったクイズがあり訪れた人は皆真剣に考えて答えていました。

更女のブースの中央には掛川支部の方の手作りの和洋人形が優しくお客様を迎えとても良かったです。色々な方々の展示品を見たり買い物をしたりゆったり交流出来た一日でした。

掛川支部、大須賀支部の皆さん応援ありがとうございました。



## 『平成28年度 静岡県更生保護大会 静岡保護観察所 感謝状 受賞』

11月10日、藤枝市民会館にて、静岡県更生保護大会が開催され、当地区更女会から3名が表彰されました。ここに受賞された方からコメントをいただきましたのでご紹介します。

井野榮子（いのえいこ）さん

家族や友人に支えられここまで来ることが出来ました。ご近所で次にバトンを渡す会員も推薦できうれしく思います。ありがとうございました。

名波千恵子（ななみちえこ）さん

賞をもらっていいのかなと思いつつながらの受賞です。今後も更女として地域社会の活動に力を注ぎたいと思います。

山岸文代（やまぎしふみよ）さん

皆様のご支援をいただき、4年間役員を務めさせていただきました。今後も更女会の一員として活動に参加させていただきます。



## 『保護司会矯正施設視察研修に参加』

掛川支部 小澤悦子

11月17日、上記研修に参加させていただきました。視察先は奈良少年刑務所です。

明治41年に建設された煉瓦<sup>れんが</sup>つくりのモダンな建物です。赤レンガの観光地に来たかのような施設でした。平成29年3月には廃庁とのこと。入所者や職員は全国の他の施設に受け入れてもらうようです。文化財の中にいるようで日常生活は過ごしにくいだろうと思いました。

18日は西国観音霊場<sup>さいごくかんのんれいじょうだいにばんれいじょ</sup> 第二番礼所<sup>きみいでら</sup> 紀三井寺です。

「ふるさとを はるばる ここに きみいでらはなのみやこも ちかく なるらん」でおなじみです。

木造の立像仏として日本最大の総漆金箔張 大千手十一面観音菩薩にお参りしてきました。

午後は天理教会本部の見学です。敷地の広さ、建物の大きさにびっくり。天理参考館へ寄り、充実した世界の考古美術を堪能しました。とても有意義な2日間でした。



## 『視察研修に行ってきました。』 ～参加者の感想～

- ・第1回 平成28年10月20日（木）
- ・第2回 平成28年11月8日（火）
- ・行き先 静岡少年鑑別所、ふじのくに地球環境史ミュージアム

### ■ふじのくに地球環境史ミュージアム

・地球の過去・現在・未来・地形・植物・動物の変化を知ることができ、驚きと共に感動した。

いろいろ説明を聞き、わかりやすく勉強になった。山のこと、水の中のこと、説明に納得して見て回った。各部屋（教室）の分類ごとに話をされわかりやすかった。普段、見たり聞いたりできないこと、深海魚のえさ等、面白く聞かせてもらえた。

- ・縄文時代から現代までの移り変わり、高校の先生に旧校舎で説明を受け、「こういう授業を生徒として受けたかった」と思った。面白く興味深く、時間が足りなかった。
- ・その昔、学校で教わったわけのわからない歴史や地理に比べ目から鱗のお話だった。標本からその時代をよむ。プレートの話、自分の住む地域のすばらしさと怖さ。ゆっくりお話を聞きに来たい。
- ・掛川出土品をみて、海だったのだと実感した。
- ・もう一度ゆっくり行きたいと思う。

- ・展示品すべて素晴らしかった。スタッフが多く人件費等経費が大変だろうと思う。
- ・博物館が一つも無かった静岡県に初めてできたのか、高校廃校舎を上手にリノベーションして素晴らしくできている。「百年後の静岡が豊かであるように」というコンセプトがおしゃれ。未来を環境史を通じて予測して生き方を問いましょうというものでしょう。大変よい学習機会だった。
- ・県全体の地殻の状態などがわかりとても有意義に思う。掛川の上層の状態などがわかり良かったと思う。またゆっくり来たいと思う。
- ・高校跡地を利用したとても充実した展示物で1時間では足りないほどで再び来館したいと思う。
- ・まだ新しく気持ちがいい。丁寧な説明。縄文時代から現在まで深く貴重な物を見せて頂き大変ありがたかった。このような過程があって現在がある。立派なミュージアム。皆様誰でも見学させていただくとよい。
- ・想像とはちがった。もっと時間をかけて見学したかった。
- ・とてもよかった。丁寧にスタッフの人たちが説明してくださり参考になった。機会を見て孫たちを連れて来たい。有意義な見学だった。



#### ■静岡少年鑑別所

- ・鑑別所へ入ってくる少年たちの話を聞き、一番身近な親たちの責任が大きく関わってくることが大事だと思う。子どもたちも必死にもがいている。やり場のない何とも言いようのない心がこの鑑別所で一人前に更生してゆくことを願わずにはいられない。
- ・良い経験をさせていただいた。人の生き方を考えた。職員の方々の努力で一人でも更生してほしい。家族のあり方、難しい時代だと思う。
- ・厳しい家庭環境におかれて罪を犯してしまった若者がこの先幸せになってほしいと願わずにはいられない。微力でも少しでもお役にたちたい。
- ・職員の方の愛情が伝わってきた。8割方は親の責任。同じ親、祖母として反省すること大。子どもの砦としてとても大切なお仕事。健康に充分気をつけ子どもたちの幸せのためによりしくお願いしたい。
- ・鑑別所の生活の一部を知り、親子関係での親の重大な責務を感じる。母だけでなく父も。
- ・初めて見学。講話を聞き4週間くらいの収容機関で鑑別、面接の後、判定会議が開かれるとのこと。その間の面会に来られる親御さん等・・・少年、少女がどんな思いか？思うだけで辛く悲しく思った。
- ・内容、いろいろ説明していただき良い学習となった。昨今の現状をみても少年たちの思いがけない事件が多すぎ不安を感じる。今日のお話を聞き、立派な先生方の心のこもったご指導に一日も早く自分を反省し、本当の自分のこれからを見つめ、新しい生活に精進していただける事を願う。



・3帖の部屋は3人部屋になっていた。小さい机が1つ備えてある。トイレもあり、カーテンで仕切ってあった。小さいテレビも備えられていた。20年前は600人いたが年々減少し、今では250人になったとのお話があった。

・更女会に入会したおかげでいろいろ勉強させていただく事が多く考えさせられる。入所する少年少女、将来の事を思うと心が痛む。少しでも良い子どもが多くなる事を願う。お手伝い出来る事をやりたいと思う。

・所長さんのお話がとてもわかりやすく職員の方のご苦労も沢山あるだろうと感じた。所長さんが笑顔で対応してくださり、所内を案内してくださり、そこで生活する少年たちが落ち着いた気持ちで審判を受けるよう指導されている姿、生活する姿が目につく。

貴重な訪問を経験でき有難かった。

- ・鍵をかけられる部屋に入る青少年がいなく犯罪予防に努めて参りたいと思う。立ち直りは家族の現実を受け入れるところからのようだ。このことも地域の皆様に伝えて参ります。
- ・有意義な1日を過ごさせていただいた。まず現在、普通の生活が出来ている有り難さを実感した。説明を聞いたり案内をしていただき、青少年の健全育成に蔭の力として関わってくださる姿が良く分かった。これからも更女会員の1人として少しでも関わっていけたらと思う。
- ・少年院の見学をさせて戴いた時、少年院は収容されている少年たちが自分の犯した行動を反省する場所だと認識したのに対し、鑑別所は矯正指針を立てる場であるところなのだと知った。更生の場が多くある事を知っただけでも勉強になった。ありがたかった。
- ・先生の講話もわかりやすく罪を犯すという行動に対して反省する機会を与える鑑別所の意義がわかった。質疑応答の時間がとてもよいと思った。勉強になった。
- ・今日はとても考えさせられた。12歳位からといえば小学生？中学生？家庭の事情もあるだろうが、親は一生懸命育てても心のかげちがいでは非行に走ることもあり、大人への不信感をさせないことも一つかなと思った。
- ・所長さんのお話を聞き、家庭の中が良くいくことで問題はないと思う。子どもの状態をよく観察することで防げるのではないかと。家族で話し合うことも必要。
- ・見学、講話を勉強させてもらい大変うれしく思う。孫が今反抗期で、家の者の言うことを聞かないので困っている。今日聞いた事、また資料を家に帰り、もう一度読み、子どもの親、また子どもと食事を取りながらお話をして子どもを優しい孫にしたいと思った。世の中に迷惑をかけない人間にしたいと考えている。今日はありがとうございました。
- ・見学と女性所長の講話は大変意義のあるものだった。「少年の家」「少年鑑別所」「少年院」「刑務所」それぞれの違いや役割がはっきりとわかった。罪を犯した子どもたちが一日も早く更生し、二度と再犯しない生活が送れるように祈るばかり。女性所長のどっしりとした精神力はさすがだと思う。今日は大変よい勉強をさせていただいた。有難い。



- ・なんと言っても家庭環境の親の愛情があれば非行に走ってしまう子も少なくなるのではと実感する。
- ・年間多くの少年が収容される事を知った。
- ・とても興味がありよかった。職員の方もさぞ大変だろうと…いろんな意味で感動した。とても勉強になった。また機会があったら家族や友人たちと勉強したい。
- ・有意義な見学だった。別世界の場所、誰もお世話にならない世の中でありたいと思う。
- ・大変な仕事だと感心した。親族からこのようなところにお世話にならないでと願う。
- ・親の重大な責務を感じます。母だけでなく父もです。



#### ■その他



- ・食事はちょうど良い分量でおいしく頂いた。参加費以上のお食事で楽しくお話もできた。
- ・バスのエアコンが故障中で暑かった。



### 裁判所傍聴に行って来ました～前号第 91 号に掲載しきれなかった感想～

- ・交通事故の裁判傍聴をして、身近に良くあるような交通事故であり、自分の身にもいつでも起こりうる事だと思いきどきしていました。今後は自分の事として運転する時は気をつけて行動しようと思いました。また、家族にも十分注意しようと思いました。
- ・交通事故の裁判を傍聴して本当に大変だと思いました。自分にも起こるかもしれないと思うと運転する時は注意が必要。相手を傷つけ、取り返しが付かない事になれば被告人もずっと罪を背負っていくことになる。一生の償いになってしまったと思うと事故は絶対起こしてはならないと思う。
- ・一瞬の出来事。被害者の回復をお祈りするのみです。いつ自分におこるかもしれない、気をつけていてもどうしようもないこともある。恐ろしい。あってはならない。加害者にも被害者にもなってはならない。もう少し検察官の声が大きくはっきりとお願いしたい。
- ・交通事故の恐ろしさを強く感じました。検察官の話は早口でわからないところもありましたが、いろいろなお話の中で被告人及び家族の方も相手に対してのこれからのあり方がよくわかったのではないかと思います。
- ・交通事故の裁判でしたが双方大変な様子でした。毎日のように事故がありますがこんな裁判が行われているのだと思いました。高齢者の方はやめていただきたいです。

- ・身近な交通事故は本当に恐ろしい。家族の方々、被害者も加害者も心配してずっと苦しかったらと思います。被害者の方が少しでも快方に向かうようお祈りしています。

### ～編集後記～

あけましておめでとうございます。

旧年中は更女会会員皆様のご協力により、充実した日々を送ることができ、無事年越しができました。

今年も皆様のお力添えをいただき、1年を乗り切っていきたいと思います。

平成 28 年度も残すところ、あと3か月を切りました。、会員1人1人の力で、多くの方が前向きに更生へ向かうことができるよう、お互いに精進して参りましょう。

